

あったかトーク

第36号 2020年秋号

ひぐちのりこ事務所
(青葉区版)
発行人 樋口 典子

1959年仙台市生まれ 管理栄養士
社民党仙台市議団
●市民教育常任委員会
●文化芸術・スポーツ振興 調査特別委員会 副委員長
●議会運営委員

第3回定例会

新型コロナ対策に約44億円計上

仙台市議会第3回定例会は、9月4日から10月7日まで開かれ、2019年度の各会計決算認定など、計33件の議案審査を行いました。

昨年度の一般会計決算においては、歳入は個人市民税が対前年比4.6%増、固定資産税が3.7%増など総額5,312億円余となりました。歳出においては、市庁舎建設費積み立てやエアコン設置に伴う教育費など計5,240億円余となりました。結果として37億円余の黒字となり、財政調整基金へ19億円積み立て、18億円余は次年度繰越となりました。

また、特別会計は約3,138億円、企業会計は2,229億円で、約1兆607億円となり、全て承認となりました。



決算議会で仙台市で発行しているダムカード、マンホールカード、名水百選カードでの発信について提言

ドライブスルー方式でのPCR検査費用等の計上

一般会計補正予算では、新型コロナ感染者が発生した施設名を公表した事業者に最大100万円を支給、ドライブスルーでPCR検査を行う費用の負担金、市民活動団体への支援金など計43億9,700万円が計上されました。一方、定禅寺通活性化推進事業費などの事務事業費や土木費の不用額など計44億9,800万円の減額措置により28億2,200万円の補正が提案されました。

その他の補正案では、台風19号で被災した双葉ヶ丘の宅地耐震化事業費の追加、教職員用端末機整備等教育情報ネットワーク推進経費、小中学校のトイレ改修費の追加などが計上されました。

企業会計では、市立病院でコロナ感染症対策に携わる職員への慰労金の支給のための補正などが計上されました。

青葉山公園センター(仮称)整備へ

条例改正案では、コロナ関連で行事中止等により入場料金等払戻請求



権を放棄した納税義務者が寄付金控除を受けられるため等の市税条例の改正案などが提案されました。

また、青葉山公園センター(仮称)の新築工事ははじめ小中学校の児童生徒用タブレット端末機の購入に伴う財産取得費なども提案されました。

その他、教育委員の任命、固定資産評価委員の選任・県公安委員会・人権擁護委員の推薦に関する人事案件も全て承認可決されました。

長年要望のあった貝ヶ森市民センター方面から恵通苑団地を結ぶ通学路についても市道路線として認定されました。



貝ヶ森1丁目道路が市道認定

「ひぐちのりこ」にお声をお寄せください!!

これまで市民生活などの様々な場面をテーマに市政報告&おしゃべり会を開いてきました。今回の集まりは休止しますが、新型コロナウイルス対応などについてのご相談やお困りごと、ご提案などお気軽に事務所あてご連絡ください。



●味の素 馬山公園
石井屋 ●
二日町北四番丁
ひぐちのりこ事務所
上杉山通小学校 ●

↑泉方面
●七十七銀行 中江→
丸信精肉店
河北仙販
仙台駅 ↓
上杉山通小学校前

ひぐちのりこ事務所
〒980-0011
仙台市青葉区上杉3丁目9-31
プリマヴェーラ杜王101
TEL.022-398-8171
FAX.022-398-8172
セブンイレブン側からお入り下さい。
お気軽にお立寄り下さい!

ひぐちのりこ 東奔西走!

7月21日、8月21日 市民教育委員会で質問

7月21日は、「仙台市幼児教育の指針」の保護者向けリーフレットが保育所等の3歳児クラスに通う家庭向けに送付されていますが、この中に引用されたイラストが「食器洗いは女の子」「外遊びは男の子」と性別に基づく固定観念を強化していると質しました。男女共同参画の観点からみても課題がある。ガイドラインの趣旨に基づき、啓発などに努めたいとの答弁でした。

8月21日は、4月に開所した中央救急出張所(青葉区)での救急活動の状況や熱中症の救急搬送などについて、戦後75年にあたっての戦災復興展、実体験としての戦争を語り継ぐ人たちが高齢化などで少なくなる、次世代へ伝えていくための取り組みについて質問しました。

仙台市幼児保育の指針リーフレットのイラスト(抜粋)



9月19日、10月21日 総務財政委員会で質問

9月19日は、新型コロナウイルス感染症に対応するための組織体制に伴う職員の状況について質問しました。4月からは新型コロナウイルス感染症対策調整担当として、2名の職員を兼務により配置したほか、その後、保健所や衛生研究所、特別定額給付金対応、緊急経済対策など40名の職員に兼務発令を行っていると答えました。

10月21日は、仙台市が広報している「せんだいTube」について、および保健所の体制強化について質問しました。

せんだいtubeでも啓発している、感染症に負けないせんだい生活スタイル「だ・て・ま・さ・む・ね」の6項目



9月27日 「女川原発再稼働ストップ! みやぎ女性議員有志の会」始動

宮城県内超党派の女性議員(元職含む)62人の賛同で「女川原発再稼働ストップ! みやぎ女性議員有志の会」が発足しました。10月12日には、宮城県知事に対し「コ



ストが高く、産業として成立しない原発から撤退し、再生可能な自然エネルギーに転換することをめざし、生命・暮らしと子ども達の未来に関わる原発の再稼働は、行うべきではない」としたアピール文を提出しました。

10月23日には郡仙台市長に対して、有志の会の仙台市議6名で11月に行われる県内自治体首長の会議で再稼働に反対するよう求めました。原発立地自治体(女川町、石巻市)と宮城県議会では原発の再稼働を容認した請願が採択されてしまいましたが、再稼働を目指す時期が2022年度以降と示されている中、県内自治体首長への要請や、東北電力との意見交換、住民や学識経験者とのシンポジウム開催など女川原発再稼働を止め、原発のない持続可能な社会をめざすための活動を行います。

お願い

「ひぐちのりこ市議会ニュースレター」を郵送でお届けしている方につきましては、発行側の情報不足から、すでにお亡くなりになられた方や転居された方へも送付されるなど、ご迷惑をおかけすることもございます。その際には情報をお寄せくださいますようお願いいたします。なお、お名前や住所などの誤字や訂正などがありましたら併せてお知らせ頂きますよう、お願い申し上げます。

皆さんの声を聴いて、市政へ!



10月5日 決算等審査特別委員会で質疑



仙台市民活動サポートセンターで、登米市の合併を題材にしたカードゲーム「すべてが登米になる」をプレイ。様々な媒体を使用した地域活性化の質問に結び付けました。

DV被害者の住民票写しなどを加害者に誤送する事例が頻発していることより、本市での対応を質問しました。支援措置にかかわるマニュアルを整備し、責任者を定め必要な措置を行っているなど事故防止の徹底をしているとの答えでした。あわせてDVを生み出さない啓発を質し、人権尊重や非暴力、男女平等の視点の啓発が重要との答えでした。

国の事業であるマイナンバーカードでの本市負担について、本市が発行しているマンホールカード、ダムカード、名水100選(広瀬川)カードなどによる公的施設のPRが、ひいては公的ブランドにつながる。半紙(和紙)に城名やゆかりある城主の家紋などの印を押した「御城印」を用いた地域観光資源への貢献についても質問しました。市民センター等への安定したWifiの環境整備についても求めました。

10月7日 『2021年市政要望、予算要望』を提出

社民党仙台市議団として、来年度の市政要望&予算要望を郡仙台市長に提出しました。

市政運営に関する要望では、「子どもの権利条例」、「交通基本条例」、「給付型奨学金条例」、「公契約条例」の制定および「パートナーシップ宣誓制度」の創設。

また「女川原子力発電所の再稼働に当たっては、稼働永久停止・廃炉を東北電力および宮城県に申し入れること」、「宮城県が進めている上工下水道事業の管理運営権の売却(コンセッション方式)について中止するよう求めること」、「県立美術館について移転計画の中止」。平和行政の推進として「非核平和都市の宣言」等の計27件。新型コロナウイルス感染症対策に関して「感染予防、感染拡大防止および治療体制の確立」など、10件の要望も提出しました。



新年度予算に関する要望については、全市53件、各区に関して66件。青葉区については作並地区の振興、仙台高校前から貝ヶ森4丁目、厚生病院から尚絅学院のバス路線について通行に支障のないよう電柱の移設、浸水被害が出ている中央1丁目地区の雨水対策、大竹児童館の廃止は行わないことなど、14件を要望しています。

ひぐちのりこ 主な活動日誌

7月14日	防災・減災推進調査特別委員会	9月4日~10月7日	仙台市議会第3回定例会
7月15日	みやぎ女性議員のつどい総会&研修会	9月16日	本庁舎建替事業に伴う環境影響評価の方法書説明会
7月28日	議会ICT化推進検討会議	10月19日	生協組合員との懇談
7月29日	仙台市国民健康保険運営推進協議会	10月25日	国政・県政・市政を語る青葉のつどい
7月30日~8月3日	臨時議会	10月27日	市制施行131周年記念行事
8月15日	8.15船倉を阻止する母親の平和行進	10月30日	議会ICT化推進検討会議
8月28日	議会ICT化推進検討会議	10月30日	文化芸術・スポーツ振興 調査特別委員会

●●● これからの主な予定 ●●●

11月11日	仙台市国民健康保険運営推進協議会	11月26日~27日	臨時議会
11月19日	議会ICT化推進検討会議	12月3日~18日	仙台市議会第4回定例会
11月19日	議会運営委員会		

働き方の新しいスタイルの課題、 新型コロナウイルス感染拡大による 一斉休校の検証などについて 代表質疑(9月11日)



会派で、市政要望、予算要望について論議

在宅勤務中の家事育児。 女性に多くの負担

新型コロナ対応により、働き方の新しいスタイルへの課題と各種施策への反映として、夫婦どちらもが在宅勤務となった際に、家事や育児、介護などの無償労働の多くが女性の負担となったことが明らかになった。このような課題に鑑みて各種施策に活かすべきと質しました。

在宅勤務をはじめ、働き方の新しいスタイルは活躍の可能性を持つ一方、家庭内のケア役割が女性に偏りがちになる恐れがあることにも十分な考慮が必要。日頃から家庭内の役割をバランスよく担えるよう、男女共同参画推進に向け各般の政策に取り組みたいと答えました。

新型コロナウイルス感染症による 学校の一斉休校の検証

3月から行われた市立学校の一斉

休校の影響調査と検証についておよび再度の休校の想定について質問しました。臨時休校中は保護者との連絡手段の充実、児童生徒への丁寧な寄り添い等の取り組みが必要との検証を行った。再度の休校については現時点では市内の感染状況や医療体制が深刻な状況となる等の事情がなければ、すべての市立学校を一斉に臨時休業することは考えていないとの答弁でした。

基本計画中間案での 雇用の確保

仙台市の今後10年間の指針ともなる仙台市基本計画中間案については、雇用の確保の明記を求め、雇用の確保という課題について市民の暮らしを支える重要な課題であると認識している。雇用の拡大に取り組む



女川原発再稼働ストップ!みやぎ女性議員有志の会で都市長に要望

といった方向性を示したところで、このような取り組みを通じ、税源涵養にもつながる好循環を生み出すことができるよう努めいきたいと答えました。

原発事故での 東京電力への賠償要求など

福島第一原発事故あつせんの件では、前回、和解で認められなかった遅延損害金も請求しており、他自治体とも緊密な連携を取りながら東京電力に賠償金を強く求めるとの答弁を得ました。ガス事業における「炎と実生活のかかわりを啓発する」いわゆる「火育」の評価について質問しました。

その他、雇用の維持と新しい働き方を支援する雇用シェアマッチング支援事業、仙台市NPO法人等活動支援金の周知広報について、教育情報ネットワーク運営および運用については現場の教員の過度の負担とならないような施策、本市の財政見通しと経済活動の基盤強化、杜の都環境プラン中間案では、SDGsとの関連、組織横断的な連携、環境にやさしい公用車やバス車両の導入についても質しました。

市議会ひぐちコラム

「国民健康保険証」旧姓併記が可能に!!

国民健康保険証に7月から旧姓併記ができるようになりました。私が今年2月、予算等審査特別委員会で求めていたものです。昨年11月から住民票に旧姓が併記できることとなりましたが、仙台市では旧姓併記の申請者が7月末で250人余りであり、その中で国民健康保険に加入している人は30人ほどという実態からシステム改修は行わず、かかった費用はゼロとのことです。

国民健康保険での旧姓併記(抜粋)

宮城県国民健康保険 有効期限
被保険者証 記号 仙台

氏 名 戸籍姓【樋口】 典子

ホーム
ページ

<http://www.kaigamori.com/nohiguchi/>

ひぐち
ブログ

<http://nohiguchi.jugem.jp/>

ツイッター

twitter アカウント名
#nohiguchi

facebook

facebook ページ

<http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18>



QRコード

ひぐちのりこ事務所

TEL.022-398-8171 FAX.022-398-8172